

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)彩都6-2街区物流センター計	階数	地上4F
建設地	大阪府茨木市彩都はなだ一丁目	構造	S造
用途地域	準工業地域、彩都地区計画区域、ま	平均居住人員	265 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,920 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2023年6月 予定	評価の実施日	2021年12月1日
敷地面積	13,900 m <sup>2</sup>	作成者	東洋建設(株) 堀章正
建築面積	6,833 m <sup>2</sup>	確認日	2021年12月2日
延床面積	26,700 m <sup>2</sup>	確認者	東洋建設(株) 堀章正



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.5**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

46 (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 2.8

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.7

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.3

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.5

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
<ul style="list-style-type: none"> <li>室内環境、サービス性能への配慮</li> <li>敷地内外環境への</li> <li>エネルギー、資源マテリアルの確保に努めている</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>特に無し</li> </ul>
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>事務室床: タイルカーペット、天井: ロックウール化粧吸音板</li> <li>事務室: 500lx以上</li> <li>全館禁煙としている、喫煙室設置無し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>耐用年数の長い部品部材を採用</li> <li>階高3.9m以上</li> <li>壁長さ比率0.095</li> <li>倉庫15000m<sup>2</sup></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>緑地設置</li> <li>景観条例を満たす</li> </ul>
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
<ul style="list-style-type: none"> <li>BPI=0.78</li> <li>BEI=0.42</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動水栓に加え、節水型便器の採用</li> <li>押出法ホリスレンフォーム採用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>LCCO<sub>2</sub>排出率=72%</li> <li>ガス設備設置無し</li> <li>駐輪場(バイク置場)、駐車場、管理用車両用駐車場</li> </ul>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R3-0093

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)彩都6-2街区物流センター計画					
	建設地	大阪府茨木市彩都はなだ一丁目					
	用途/区分	工場 事務所					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					A	
①	CO2削減					4	
②	みどり・ヒート アイランド対策					2	
③	建物の断熱性					5	
④	エネルギー削減					5	
⑤	自然エネルギー直接利用					—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—

## エネルギー消費量の報告

### 【評価項目】

項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	4.1	4
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	2.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	5.0	5
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	5.0	5
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

### その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入	LED照明	LED照明の採用等、設備システムの高効率化に努めている。
特に配慮した事項	・省エネルギー性能への配慮	